

科目名 「 歯科保健指導論 I 」

学年	学期	科目責任者
1 学年	前学期	岡元

学習目標 (GIO)	対象者（個人・集団）に対して適切な歯科保健指導を行うために必要な、基礎知識、特に口腔清掃の必要性・口腔清掃技術を修得する。
担当教員	岡元
教科書	最新歯科衛生士教本 『歯科予防処置論・歯科保健指導論』 医歯薬出版（株） 『改訂歯ブラシ辞典』 学健書院 『歯肉を読む』 クインテッセンス（株）
参考図書	最新歯科衛生士教本 『保健生態学 第2版』 医歯薬出版（株）
評価方法 (E V)	授業態度、提出物、中間試験、定期試験を評価する。 必要に応じて小テストを行う場合もある。
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯科衛生士として人々の健康に携わっていく役割を理解し、歯科保健指導の意義、必要性を学んでください。また、予習復習を行い疑問点は必ず解決するようにしてください。質問がある場合は教員室まで来てください。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/10	ガイダンス 保健指導の概要 健康の概念	<p>【授業の一般目標】 年間の授業計画、および進め方について理解する。 歯科保健指導の法的な位置づけ、意義、必要性を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 歯科保健指導の位置づけを述べることができる。 WHOの健康の定義を述べることができる。 プライマリヘルスケアについて述べるができる。 ヘルスプロモーションについて述べるができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 (教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』 I 編 1 章) (45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	岡元
第2回 4/17	生活行動と 保健行動	<p>【授業の一般目標】 自身の日常生活を振り返り、生活習慣の改善について考察する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 保健行動の意義を説明することができる。 生活習慣と保健行動を分類することができる。 保健行動への改善策を列記することができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 1日の生活記録を作成する。(プリント配布) (45分) (教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』 I 編 1 章)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	岡元

<p>第3回 4/24</p>	<p>歯・口腔内の 状態把握 (各部の名称と 役割)</p>	<p>【授業の一般目標】 正常な口腔と歯周組織の構成と役割を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 正常な口腔の構成を列記することができる。 歯周組織の構成を列記することができる。 口腔の機能について説明することができる。 【準備学習項目・時間】 (教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』Ⅱ編1章) (45分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>
<p>第4回 5/1</p>	<p>歯・口腔内の 状態把握 (口腔内分析)</p>	<p>【授業の一般目標】 健康な歯肉と病的な歯肉の違いを理解する。 【行動目標 (SBOs)】 健康な歯肉の特徴を列記することができる。 病的な歯肉の特徴を列記することができる。 歯周病の進行プロセスを説明することができる。 【準備学習項目・時間】 (教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』Ⅱ編1章、2章) (45分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>
<p>第5回 5/8</p>	<p>口腔内の汚れの 種類</p>	<p>【授業の一般目標】 歯面の付着物、沈着物の種類と特徴を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 歯面の付着物、沈着物を列記することができる。 プラークの成り立ちを説明することができる。 歯石の成り立ちを説明することができる。 歯垢染色剤の用途と役割を説明することができる。 【準備学習項目・時間】 (教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』Ⅱ編2章) (45分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>
<p>第6回 5/15  第7回 5/22</p>	<p>プラーク・歯石の 指数 歯周疾患の指数</p>	<p>【授業の一般目標】 各指数の判定基準と計算方法を身に付ける。 【行動目標 (SBOs)】 PCR (O'Leary) を計算することができる。 OHIを計算することができる。 OHI-Sを計算することができる。 P1Iを計算することができる。 PHPを計算することができる。 PMA Indexを計算することができる。 歯周疾患指数 (PI) を計算することができる。 歯肉炎歯数 (GI) を計算することができる。 地域歯周疾患指数 (CPI) を計算することができる。 【準備学習項目・時間】 (教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』Ⅲ編2章③) (45分) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>
<p>第8回 5/29</p>	<p>中間テスト 解説</p>	<p>第1回～第7回の授業内容</p>	<p>岡元</p>

<p>第9回 6/12</p> <p>6/5 歯科衛生士概論 歯科診療補助論 と交換</p>	<p>口腔内清掃法 講義</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔内清掃の目的、清掃に用いられる道具を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 口腔清掃の目的を述べることができる。 歯ブラシの各部の名称を列記することができる。 歯ブラシの種類を列記することができる。 各歯ブラシの特徴を説明することができる。 各種ブラッシング方法の特徴を説明できる。 各種ブラッシング方法を比較することができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 (教科書『歯科予防処置論・歯科保健指導論』Ⅲ編3章⑥) (45分) 事前に購入している指導用歯ブラシを観察しておくこと。 持ち物：指導用歯ブラシ</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>岡元</p>
<p>第10回 6/12</p>	<p>口腔内清掃法 実習</p>	<p>【授業の一般目標】 顎模型と人工プラークを用いて各清掃方法で汚れの落ち方を比較する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 ブラッシング方法を顎模型上で実施することができる。 ブラッシング方法に適した歯ブラシを選択することができる。 ブラッシング方法による汚れの落ち方を観察し、比較することができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 (教科書『歯科予防処置論・歯科保健指導論』Ⅲ編3章⑥) (45分) 持ち物：顎模型、人工プラーク、指導用歯ブラシ</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>岡元</p>
<p>第11回 6/19</p>	<p>補助的清掃用具</p>	<p>【授業の一般目標】 補助的清掃用具について種類と使用目的・方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 補助的清掃用具の種類を列記することができる。 補助的清掃用具の特徴を説明することができる。 補助的清掃用具の適用部位を述べるすることができる。 補助的清掃用具の使用方法を説明することができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 (教科書『歯科予防処置論・歯科保健指導論』Ⅲ編3章④⑥) (45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>岡元</p>
<p>第12回 6/26</p>	<p>自身の口腔内の 汚れを測定する</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔内の歯垢染色を安全に行い、PCRの計算を行う。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 歯垢染色を安全に実施することができる。 オーラビューを安全に使用することができる。 歯垢染色記録を取ることができる。 PCRの計算を行うことができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 (教科書『歯科予防処置論・歯科保健指導論』Ⅲ編2章②③) (45分) 持ち物：コップ、水、吐き出し用カップ、染め出し液、赤鉛筆、歯ブラシ、補助的清掃用具</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>岡元</p>

<p>第13回 6/26</p> <p>7/3 歯科衛生士概論 歯科診療補助論 と交換</p>	<p>100%磨きに挑戦</p>	<p>【授業の一般目標】 自身の口腔内に合った清掃方法を考察し実施する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 自身の口腔内における問題点を列記することができる。 問題に対する改善策を述べることができる。 自身の口腔内に適したブラッシング方法、清掃用具を選択することができる。 自身の口腔内で実施することができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 第9回～第12回までの授業内容のまとめとする。(45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>岡元</p>
<p>第14回 7/10</p> <p>第15回 7/24</p>	<p>症例検討 (歯垢清掃方法を 考察する)</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔内状態・生活背景に適したブラッシング方法を検討する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 口腔内写真(症例)から問題点を列記することができる。 問題に対する改善策を述べることができる。 口腔内に適したブラッシング方法、清掃用具を選択することができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 第9回～第13回までの授業内容のまとめとする。(45分)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義・ブレインストーミング</p>	<p>岡元</p>